

病院概要

所在地 東京都葛飾区新宿3-7-1
診療科目 産婦人科・小児科
許可病床数 104床
産婦人科：一般65床、MFICU3床
NICU・GCU：36床
休診日 日曜・祝日 年末年始(12/29-1/3)

アクセス

バス・車・自転車での来院が可能です。



バス

●都営バス【草39】
JR常磐線金町駅南口2番乗り場から「浅草寿町行き」「上野松坂屋行き」にて亀有警察署前下車(徒歩1分)
●京成タウンバス【小54】
JR常磐線亀有駅南口3番乗り場から「京成小岩駅行き」にて亀有警察署前下車(徒歩1分)

・JR総武線小岩駅北側「小岩駅北口」停留所から、京成本線京成高砂駅南側「高砂駅」停留所から、京成本線京成小岩駅東側「京成小岩駅」停留所から「亀有駅行き」にて亀有警察署前下車(徒歩1分)
※最寄駅は、JR金町・京成金町駅となります(徒歩18分)



電車

最寄駅はJR金町・京成金町駅です。
駅からはバスのご利用が便利です



車

駐車場は53台のご利用が可能です。



自転車

駐輪場は57台のご利用が可能です。



詳しくはこちら

診療予約について

当院の診療予約はスマートフォンの当院専用アプリを使用して日にちと時間帯の予約を行い、来院していただく仕組みです。アプリ内の「QR診察券」は診察券の代わりになり、当日の診療のご案内や呼び出しもアプリで行うため、母子日赤アプリがないと診察を受けることができません。最初にアプリをダウンロードし、利用登録を行った後、診療の予約をお願いいたします。



Androidの方



iOSの方



東京かつしか赤十字母子医療センター
Japanese Red Cross Tokyo Katsushika Perinatal Center

<https://katsushika.jrc.or.jp>



母子日赤



東京かつしか赤十字母子医療センター
Japanese Red Cross Tokyo Katsushika Perinatal Center

地域に根ざし、いのちに寄り添う
女性と子ども、そしてご家族にやさしい病院。

HOSPITAL GUIDEBOOK





point 1 安心の医療提供体制

- 地域の周産期医療の中核病院
- NICU・GCU完備
- 年間平均1,500の分娩件数
- 無痛分娩対応
- 地域屈指の助産師数
- 24時間365日の診療体制



point 3 健やかなマタニティライフと育児

- 産婦人科・小児科外来
- 助産師外来
- 乳房ケア外来
- マタニティ鍼灸
- 宿泊型産後ケア
- 多彩なクラス・教室



地域に根ざし、いのちに寄り添う
赤ちゃんとお母さん、ご家族にやさしい病院へ。

妊娠・出産・育児を手厚くサポート。
どこまでも安心、心地よく、健やかに。

point 2 心地よい施設環境

2021年
新築移転の施設

全室個室
母子同室可

タサン志麻さん監修の
お祝い膳

充実のアメニティ



1953年の開設以来、日本赤十字社唯一の周産期医療に特化した病院として、東京都東部・千葉県北西部・埼玉県南東部の周辺地域に根ざし、一人ひとりに寄り添ったケアで、安心・安全のお産を支えてまいりました。愛称は「母子日赤」。これからもお産の主役であるお母さんご家族、そして赤ちゃんにやさしい病院を目指し、新たないのちの誕生をサポートいたします。

「母子日赤」のここが魅力！

「分娩施設って、どうやって選べばいいの?」「母子日赤って、どんなところなの?」
当院の特長をコンパクトにご紹介。
多くのお母さんやご家族に選ばれてきた理由がここに 있습니다。



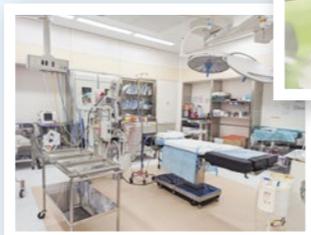
point 1 安心の医療提供体制

新たないのちの誕生を万全の体制でサポート。

東京都東部・千葉県北西部・埼玉県南東部における周産期医療の中核病院として、
地域屈指の医療提供体制を整え、24時間365日体制で安心・安全のお産を支えています。

東京都認定の「地域周産期母子医療センター」

当院は1997年から出産前後の母体・胎児や新生児に対する高度で
専門的な医療に対応できる「地域周産期母子医療センター」として東京
都に認定されています。新生児集中治療室 (NICU)、新生児回復室
(GCU)、ハイリスクの妊婦対応のための母体胎児集中治療室
(MFICU) も完備。「もしもの時」にも適切な処置を速やかに提供す
ることができます。



「自分らしいお産」を 応援します！

一定の姿勢にとらわれない「フリースタ
イル分娩」やローリスクのお母さんを
対象とした「たみでの分娩」、「無痛
分娩」など、お母さんが赤ちゃんをどう
迎えたいかを一緒に考え、支えていき
ます。



年間分娩件数

平均 **1,500 件**

毎年、たくさんの新たないのち
の誕生に携わっています。

年間緊急搬送 受入実績

約 **200 件**
(母体・新生児)

他院で緊急搬送が必要になった
妊産婦や新生児を「地域周産期
施設」として受け入れています。

助産師数

100人超

地域屈指の助産師数。しかも
全ての妊婦さんと個別に相談
する時間を設けています。

point 2 心地よい施設環境

新しい病棟と快適なお部屋で心も身体も豊かな入院生活を。

2021年に新築移転したばかりの新しく綺麗な病棟と快適な個室で
外来から出産時の入院生活まで心地よくお過ごしいただけます。

全室個室



広さや設備の異なる4タイプのお部屋を用意。出産後すぐの母子
同室も可能で、プライベートな時間を大切にしながら、お子さまと
ご家族との時間をお過ごしいただけます。

栄養バランスが自慢のお食事



お母さんに必要な栄養や食材の旬を考えたバラエ
ティー豊かなお食事を提供。季節ごとのお祝い膳は「伝
説の家政婦・タサン志麻さん」に監修いただいています。



病院案内
動画はコチラ。

point 3 健やかなマタニティライフと育児

「1人じゃない」を実感、安心できる妊娠・出産・育児を。

不安に感じてしまうことも少なくないマタニティライフと育児。
当院では、お母さんどうしや助産師とコミュニケーションがとれる機会を豊富に設けています。

産婦人科・小児科外来



妊婦健診、安心安全な出産から、
お子さま誕生後の健康まで継続
的にサポートいたします。

助産師外来・乳房ケア外来



妊娠から産後の授乳のお悩みや
乳房のトラブルに助産師・看護
師が対応いたします。

多彩なクラス・教室



マタニティクラス、ツインクラス、
エクササイズクラスなど、さまざ
まな交流の場があります。

マタニティ鍼灸



妊娠中や産後の身体やこころの
不調を緩和するため、鍼灸師の
施術を受けることができます。

もっと知る「母子日赤」 よくある質問にお答えします！

「母子日赤」には、まだまだ知りたい魅力がたくさんあります。
そこでこれまで寄せられてきたよくある質問にお答えします。
病院選びの材料にしてみてください。

Q 健診は自宅近くのクリニック、
お産は「母子日赤」という使い分けも可能ですか？

A はい、可能です。
セミオープンシステムを利用して連携施設で健診を受け当
院でご出産される妊産婦さんも多くいらっしゃいます。

Q 分娩・入院費用は
どのくらいかかるの？

A 一人ひとりお産の状況に
よって金額が変動するため、
詳細は当院HPをご確認
ください。



Q NICU・GCUがあるメリットって
どんなところ？

A 赤ちゃんが小さく生まれることや予定より早く生まれ
ることは少なくなく、何らかのリスクを抱えている可
能性もあります。当院では、NICU（新生児集中治療
室）とGCU（新生児回復室）を備え、いつ・どんなこ
とが起きても適切な治療とケアを迅速に提供できる
体制を整えています。母子共に分娩から退院まで安
心して過ごしていただけるようサポートしています。

Q 他施設で出産したのですが、
産後のサポートは受け入れていますか？

A 宿泊型産後ケアや乳房ケア外来、小児科での予防接種や健
診などをご利用いただけます。

Q 助産師は、そもそも何をしてくれる人？
たくさんいると何がいの？

A 助産師は、分娩のサポートや妊娠期・出産後のママへの健康相談、
赤ちゃんのケア・育児相談を行う専門職です。当院では、助産師が
医師との連携のもと、助産師外来やマタニティクラスを実施して
います。地域屈指の助産師数を誇るため、医師だけでは補いきれ
ない“痒いところに手が届くサポート”を提供可能です。ママと赤
ちゃんの健康やお悩みにとことん寄り添います。

Q 授乳方法はどちらが理想的なの？

A 当院ではママやご家族の想いをお聞きした上で、最適な
授乳方法を一緒に考えていきたいと思っています。「できれ
ば母乳がいいけど、無理はしたくない」「育休後の職場復
帰と母乳育児って両立できるのかな」そんなお悩みも是非
お聞かせください。

Q 立ち会い分娩・母子同室は、
可能ですか？

A どちらも可能です。立ち会い分娩はパパ
だけでなく、ご家族の立ち会いもできま
す。ママが希望する形での分娩の実現
をサポートしてまいります。母子同室に
ついては、出産後すぐに行える体制を
整えています。ママの体調や希望に合
わせて、赤ちゃんをお預かりすることも
可能です。無理なく赤ちゃんとの生活
ベースを掴んでいきましょう。

Q 分娩制限はありますか？

A 当院では、分娩の申込み数による制限は
行っておりません。「いつも通っているク
リニックで予約がいっぱいになってし
まった」「やっぱり里帰り出産にしたい」
そんな時もお早めにご相談ください。

出産までのスケジュールって、どうなってるの!?

妊娠から出産までの約10ヶ月間のスケジュールをまとめました。
スタッフ一丸となって、安心して快適なマタニティライフを支えます。

性別もわかるかな!?



**4Dエコー外来で、
お腹の赤ちゃんとお話♪**

希望者は、4Dエコーで赤ちゃんのあくびや手足の動きなどリアルな姿をご覧いただけます。



妊娠初期

2ヶ月 (4~7週)
健診 (問診・内診)

多くのママが妊娠に気づき、つわりの症状が出始める頃。月1回ペースでの健診 (問診・内診) が始まります。赤ちゃんはデラウェア種のぶどう1粒分くらいの大きさ。赤ちゃんの健康と成長のため、お酒やタバコはストップしましょう。

3ヶ月 (8~11週)
健診 (問診・内診)

赤ちゃんがミニトマト1個分くらいに成長し、少しずつ人間らしい形に。この頃、出産予定日が決定します。一方で、つわりのつらさはピークに。対処法を助産師がアドバイスします。

4ヶ月 (12~15週)
健診 (問診・内診)

つわりが落ち着き、少しずつお腹周りが大きくなっていく頃。赤ちゃんはオレンジくらいの大きさになり、脳や内臓、手足などの各器官の形成も完了。心音を聞くことができるようになります。



妊娠中期

5ヶ月 (16~19週)
健診 (問診・外診)

妊娠中期に入り、赤ちゃんの成長と共に、ママの体もふっくらしてきます。体調管理のためにも、適度な運動を取り入れてみましょう。当院のマタニティクラス・エクササイズクラスへの参加も可能です。出産に向けて、心と体の準備を進めていきましょう。

※エクササイズクラスについては医師の許可が必要です。

6ヶ月 (20~23週)
健診 (問診・外診)

赤ちゃんはメロンくらいの大きさになり、胎動もはっきりと感じられるようになります。成長が嬉しい反面、ママは腰や背中に痛みが出てくる頃。この時期から助産師外来への受診が可能です。お悩みや不安をお気軽にご相談ください。



妊娠後期

7ヶ月 (24~27週)
健診 (問診・外診)

マタニティライフも半分が過ぎた頃から健診が2週間に1回ペースに。個人差はあるものの、赤ちゃんの体重が1,000gを超え、ママの体調にも変化が起きやすい頃。マイナートラブルや日常生活について助産師がアドバイスします。

8ヶ月 (28~31週)
健診 (問診・外診)

妊娠後期に突入し、出産までラストスパート。赤ちゃんのより良い成長のため、栄養バランスの良い食事を心掛けていきましょう。

9ヶ月 (32~35週)
健診 (問診・外診)

赤ちゃんの肺の機能が完成。赤ちゃんが生まれてくる準備がほぼ整います。

10ヶ月 (36~39週)
健診 (内診)

お産目前、赤ちゃんもいつ生まれてもいい状態に。助産師からお産に向けた最後の指導。陣痛がきたら、いよいよ入院・分娩です。新たなのちの誕生を万全の体制でサポートします!



出産後

**宿泊型産後ケアで、
育児を安心スタート!**

出産時の入院期間終了後、引き続き当院に宿泊いただき、助産師から育児練習や授乳、休息等のサポートを受けることができます。お母さんと赤ちゃんのペースで安心して育児ができるよう、24時間体制で支えています。

乳幼児健診や予防接種も
当院小児科で受けられます!



パースプランや産後の生活についても一緒に考えていきましょう!



入院に必要な準備と
出産までのスケジュールについてご説明します!



これからも地域と共に歩み、
多くの方に愛される病院へ。

Message

1953年2月に誕生した「葛飾赤十字産院」は、1983年に建築した旧病院が老朽化や耐震問題で建替えが喫緊の課題でしたが、現地建替えは様々な点で困難とわかりました。そこで葛飾区に多大なるご支援を頂きこの葛飾区新宿の地に2021年6月新病院を開院致しました。新病院では母子が気兼ねなく入院生活が過ごせる全室個室の療養環境、赤十字の使命である災害時にも対応できる周産期医療設備を用意しました。またこの地にあった区立図書館の機能を受け継ぎ1階に葛飾区立にいじゅく地区図書館が入り、蔵書の半数が母子のための図書という、医療施設の中に未来ある子どもたちの知的好奇心を育む特色ある病院となりました。また、この新築移転を機に病院名を「東京かつしか赤十字母子医療センター」と変更致しました。これにより、これまでのように助産師が主体となって妊産婦に寄り添う出産はもとより、地域の周産期医療の中核としてハイリスクの妊娠母体・新生児の医療を担っていることをご理解いただけたと思います。安全な医療の中での快適な出産と、充実した心弾む子育ての支援ができる病院として、広く皆様にご支持いただけるよう一層の努力を続けてまいります。

院長
三石 知左子



当院Instagramはコチラ